

## 基本情報

指標番号  
2023

### 名称

抗 MRSA 薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

### 分母

TDM を行うべき抗 MRSA 薬を投与された症例数

### 分子

分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例

### 指標群

感染症

### 意義

抗 MRSA 薬の使用に際し、有効血中濃度の維持、副作用の抑制、耐性化の回避のため、治療薬物モニタリング (TDM) が重要である。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、TDM を行うべき抗 MRSA 薬を注射で 4 日以上投与された症例。E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが 4 日以上含まれる症例。

薬価基準コード 7 桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○	○	○	○

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 特定薬剤治療管理料を算定された症例。E/F ファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
113000410	特定薬剤治療管理料 1	B001_2	○	○	○	○	○	○	○

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. TDMは特定薬剤治療管理として月に1回のみ算定が可能である。このため、継続的なモニタリングがされているかなど、モニタリングの質は考慮できない。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 薬剤成分名は、以下を参照。<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>
2. MRSA感染症の治療ガイドライン改訂版2019. 公益社団法人日本化学療法学会・一般社団法人日本感染症学会改訂版. [http://www.chemotherapy.or.jp/guideline/guideline\\_mrsa\\_2019.pdf](http://www.chemotherapy.or.jp/guideline/guideline_mrsa_2019.pdf)